

(以下バイノーラル)

あ……むっ♪

んっ、んっ……くふ♪

おぬひの、雄々しいものふお隠ひておふ、無粋(ぶすい)な布きれなひよ、わしの口で下げてやろうひよ♪

んっ、んんう……んふ♪ くふふ♥

ほおれ……お主のマラが、ピンと外に飛び出してきてくれたぞ？くふ……ふふ♥

すんっ、すんっ、すんっ……すう……ふう、はあ——♥

硬くて、凛々しい……雄の匂いじゃ♪

すう……んう、はあ——♥

……堪らぬのう♪

お主が、ここに居(お)るとこんなに濃く主張してくれておる♥

発情して雌を……ワシを、感じてくれておる、堪らぬ匂いじゃ……すうっ♥

はあ——♥

どうにも膺の下が、熱くなつて……疼いて、疼いて、この匂いだけで、ホトの奥から蜜が……出てきてしまつておる。

なのに、小さな童(わらわ)のように泣き出してもしまいそうじゃ。

お主がいるとこんなに強く感じられて、はは……わしはこんなにも、人に飢えておったんじゃなあ。……くふふ♪ お主のイチモツの匂いで、童にされてしまうというのは、なんとも妙な話ではあるのじゃがな♥

すうう……はああ——♥

お主……主様(あるじさま)？

主様の匂いで、ワシはもう我慢が出来そうにないのじゃ。

ワシの中の雌の部分が疼いて、今すぐ……主様に奉仕をしろと訴えてきて適わん♪  
……口と舌で、味あわせて貰うぞ？良いかの？

くうー……おん♥

ふふ、了承して頂けたのなら、ゆっくり味あわせて貰おうかの♥

ほれ、千鳥の曲(ちどりのきょく)じゃ♪ もそつと体を横たえ、楽にせい♪

ワシにお主のモノで、曲を奏でさせておくれ、の♥

はあー……♥ 鼻を……んっ、こうしてそそり立っている部分に押し付けるだけで……酔いが強くなつていくようじゃ♥

……では、頂かせて貰うぞ？

んっ……ぺろっ、ちゅっ……ぺろっ、ぺろっ、ちゅう……れろおー……ちゅっ♥

くちゅ、ぴちや……れろお……んっ♪

主様のものを、舌で舐めているだけで……んっ、れろお……ぴちや、くちゅ……ちゅっ、れろお♥

体の芯から、炙(あぶ)られておる、ようじゃあ♥

くちゅ……ぺろ、ぺろ……ちゅう、れろお……ちゅっ、ちゅっ……ちゅっ♪

ちゅふっ……んっ♪

まだ、口の奥にも入れておらんのに、こうして……下から、んっ、ちゅう……れろおー、ぴちや、ぴちや、ちゅうー……くちゅっ、れろおおっ♥

じゅるっ……んんっ♥

先走りが混じった、主様の幹を舐めさせて頂いておるだけで、こんなになるとは……くふ♥

本当に、いやらしい匂いと味をさせる主様……じゃっ♥

んっ、ちゅっ……れろお、くちゅ、ちゅっ、ぴちや、ぴちや……れろおおっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ

♥

ちゅふんっ！……ふはぁー♥ はぁー……んんっ♥

酒を飲んでおったせいもあるんじやろうが……本当に、酔いが回ってきておるようじゃっ♥

主様の液が、口の中で……舌に絡んで、頬にぺたりと張り付くだけで、胸と頭が熱くなって……ぼーっとしてくるんじゃぁ♥

くふっ……くうあおん♥

んっ……くふうっ♥

ちゅうっっ……！ちゅぶっ……ふうーっ♥

ワシの舌が触れておると、お主の……主様の先走りが、止め処なく鈴口から溢れてきおるのう♥  
吸つても吸つても尽きぬ、銘酒(めいしゅ)のように……何処までも、ワシを酔わせてくれて……ふふ、溢してしまうのが勿体ないのじゃっ♥

どれ、余さず啜らせて頂くとするかの。んっ、ちゅう……ちゅぶっ、ちゅっ、ちゅっ……じゅるうっ、ちゅっ、ちゅうううっ♥

くひを、つけながら……ちゅうっ♥くちゅ、ちゅぶ……れろ、れろ、ちゅう♥

こうひて、おるほ……ちゅぶっ、ちゅう♥ずっほ、主さまのあじふぁ、んんっ……じゅるうっ♥

くひいっぱひに、広がる……のじゃぁ♥

あんっ♥ じゅるう……ちゅぶ、ちゅっ、ちゅっ、れろおー……ちゅぶっ♥

んふうっ♥ ……こうひへ、鈴口から亀頭を舐めさせて貰っておふと、ふるふると主様が震えるのふ(う)……んんっ、ちゅう、れろ、ちゅっ、ちゅっ……ちゅぶ♥

先ッぽだけで、これでは……くふ♥

啜えなふあら、亀頭の溝や、筋を舐めさせて貰ったら、どうなってしまうの、かのお……♥  
ふふ、少し試させてもらふぞ……あるじひやまぁ♥

ふわ……んぁ……むっ♥

んっふ……んんう、ちゅうう……じゅるうっ、ちゅ……じゅず、ちゅっ……ちゅばっ♥

ちゅー……れろおお♥ ちゅぶ、ちゅっ……ちゅる、ずっ……ちゅうっ、ちゅず、れろおー……ちゅぶっ、ちゅずっ……んちゅるうっ♥

ちゅばっ！……はぁー♥

……案の定じゃっ♥

大きく啜えて、口の中で舐めたら、より反応がようなりおった♥

くふ♥ 主様の液も、心なしか濃くなつてきおったのう……ふふふ♥

特にのう……このカリ首の裏とひやつ、んっ！ ぴちやつ、れろおー……ぴちや、ぴちや、ちゅうっ

♥

汚れが溜まり易いへいふぁ(せいか)、お主の味が濃くて……ワシは、好きじゃし♥ んちゅう、れろおー、ちゅぶ、れろお……ぴちや、ぴちや、じゅるうー……れろお、くちゅ、ちゅるうっ♥

じゅぶっ……んんっ、ふっ♥

ここは、ほんに……れろれろ、ちゅぶ……くちゅ、れろおっ♥ はんのうが、よいのう……んー、れろおーっ♥

舌をの、こうひれ……窄めへ(すぼめて)、ぐりぐり、挟つて……ちゅぶ、ちゅず、れろお……く

ちゅつ、れろ、ちゅずっ♥

それはら、ぴちやくちゅ……んっ、んれろお……れろ、れろ、ぴちや、くちゅ、れろ、ちゅず、くちゅぶっ♥

……ゆつくり、子種袋まで下ろしてやると、びくんと跳ねて……れろお、ずちゅ、れろお♥  
ふうー……」

主様の、滾る熱を教えてくれて、嬉しいのお……くふっ♥

んっ、れろおー……ぴちやぴちや、くちゅ、れろおー……くちゅっ♥

いっぱい、舐めさせて頂く、からのお♥んふ、んっ、れちゅう、ずちゅう……れろ、れろ、ぴちや、くちゅ、れろおーっ、ちゅっ、ちゅっ♥

んふっ!？……くふ、ふふっ♥ くうやあ……んっ♥

主様の、この悪戯小僧め♥ お主のモノが大きく跳ねたせいで、ワシの鼻にべつとりと主様の液が付いてしまうたわ♥

すんっ、すんっ……はあー♥

ほんに、どんどん、どんどん濃くなっておるようじゃ♥

量も増えて、主様の欲情がしろく、しろく混ざつて……ワシの顔に色を塗っていきおるのじゃ、ふふっ♥ くふふ……ああ、くやああんっ♥♥

ふー……ふー……♥

もう、我慢出来ぬかのう……主様♥ しからば、のう……♥

ゆるゆると主様を感じさせて貰いながら、ワシの口の中へ……たぷりと、雄の汁を注いで、満たして……頂かせて貰おう、かの♥

ワシもの……♥ もう、お主の欲(よく)交じりの先走りと、自分の涎で、口がとろとろ溢れて、堪らぬのじゃっ♥

ではのう、主様の子種を……味合わせて頂くからの」

もう、出すまで口から放さぬから、我慢出来んようになったら……ワシのこの欲しがりな口を、たんまりと主様で満たしておくれ、のっ♥ くおんっ♥

んっ、あー……んむっ♥

んー……ちゅう、れちゅうー……ちゅず、れちゅうー……ずっ、ずっ、ちゅうー……ぐちゅ、れろおー、ちゅっ、ずっ……れちゅう、ずるうー、ちゅっ、れろー、ちゅっ、ずちゅっ……れろおー、んちゅうっ♥

あるじさまほお、液が、どんどん口にたまつてくの、じゃあ……♥  
んちゅーっ、れちゅう、れろ……くちゅ、くちゅ、くちゅ、れろおー、ずちゅ、れろ、ちゅっ……にちや、くちゅっ、れろおーっ♥

んじゅ、ちゅぶっ」 あはあ♥

あるじさまほお、液が、どんどん口にたまつてくの、じゃあ……♥  
んちゅーっ、れちゅう、れろ……くちゅ、くちゅ、くちゅ、れろおー、ずちゅ、れろ、ちゅっ……にちや、くちゅっ、れろおーっ♥

ちゅぶっ、こうひれ、口にずうーと入れへほるとおっ♥

あるひさまがあ、ちゅうー、れちゅうー……ちゅっ、ちゅっ、ちゅうっ♥

ここにおるのふあ、痛いほどわかっへ、嬉しくて……たまらぬ、のじゃあっ♥

あむうっ♥ ちゅうー、れろ、れろれろれろれろ、ちゅう、じゅずずっ、れちゅーっ、ちゅず、ちゅばっ、んっ……ちゅううっ♥

ぐちゅ……ちゅぶっ♥ ーこうひれえ、じゅるうー……くちゅうっ♥

くひの中で、んじゅばっ……れろれろ、ちゅずずっ♥

舌も、つかまへて、いたかくからのおつ　　れろおー、ずちゅばつ、れろおー……ずずつ　　ゆるゆるう……れちゅう、ちゅうー……ちゅぶつ　　ねつとりとおー……ずずつ、ちゅうー……れちゅぶつ、くちゅつ、んんつ　　なんどもお、なめて、啜るから、のおつ　　れちゅうー、ずずつ、ちゅうー、れろれろ、んちゅつ、ちゅぶううつ　　いつはい、らひてえー……のおつ　　んんつ、んちゅ、はあーっ　　ずちゅ、れちゅう、ずずつ、ちゅうー、ちゅうー……れろお、れろお、ちゅず、ちゅずっ……ちゅず　　ずううつ、くちゅ、ちゅばあつ

んー……ふーっ　　びくびくほ、どろどろが……うれしくて、たまらぬ、のじゃあ　　あむうつ、ちゅうー、ずずつ、ちゅうーちゅうー、れちゅうー、ずずつ、くちゅつ、れろおー、ちゅつ、ちゅつ、ずちゅううつ　　あるひさまあ　　んつ、ちゅう、れろおー、ずずつ　　れろ、れろ、ちゅうー……っ　　あるひさまあ　　んふうつ、んつ、ずずつ、ちゅず……ちゅずず、ちゅばつ、くちゅうつ　　はあー　　だひてえ……ちゅずつ、れろおー　　んちゅつ、だひてえー　　んんつ、ちゅず、ちゅぶつ……ちゅつ、れろおつ　　ワシをお、れろれろ、ちゅうー、ちゅずつ、ちゅずつ、れろおー、んんんつ　　いつはいに、ひれえーっ　　んちゅう、ちゅず、ちゅず、れろおー、くちゅつ、ずずつ、ちゅずうー……んつ　　んーっ　　れろおー、ちゅずず、ずつ、ちゅばつ、ちゅうー……ずるるうつ　　ずつ、ずつ……ちゅ、ぶつ……ちゅうつ　　く、お……ふうつ　　れろー、れろー、ちゅずずずつ、れろおー、ちゅうーちゅぶ、ちゅぶつ、ぬちゅ、じゅぶ、じゅぶ　　ちゅうー、れろおー、ちゅずんつ……じゅるう、ちゅぶううううつ

《どくつ……どくつー！》

(射精の音)

ちゅずう、ちゅぶつ、んちゅうー……んんんんんつ　　ちゅー……ちゅる、ちゅうー……んつ、ずるつ、ずず……ちゅぶ、ちゅぶ　　んーふ……　　んつ、ちゅううううー……ちゅぶつ、ずる　　ふつ……はあ　　あ……くう、あ……はあう、くやー……んん　　くひのなかあ、はー……　　いつばひ、じゃあ……あう、くちゅ、くちゅ　　はあー……　　あるひさまあ　　一滴残らず、こびりついておったのもお、全部吸わせて貰ったか　　らのお

ふふ……分かる、かのお？　　んあーっ　　こんなひ、ワシの口があ、ぐちゅぐちゅ……子種汁で、いっぱいじゃ、よほお　　くちゅ、ぐちゅ、ぴちゃぴちゃ……　　んん　　舌が、揺れると……零れてしまいそう、ひやあ　　ぐちゅぐちゅ、口が……妊娠でも、しようとしてほるようじゃ……くふう　　く、ふ　　おかげで、くちゅくちゅ口で絡んで、うまく、しゃべれぬ……のお　　ふうー……　　……では、飲ませて頂くからのおつ、じゅぶ　　あるじさまのお、子種をお　　ワシの、なかひ……の　　んつ、じゅぶ……んくつ、くちゅ……んん

ごくつ、ごくつ……じゅるっ……ごくんっ♥

んー……はあああつっ♥

くうやん……♥

喉に絡みながら、主様のどろどろの子種が、ワシの中に……入っていくのが、分かるのじゃあ♥  
ふふ、飲み込んだの、分かるじやろう？

この辺りから、つー……と、胸の、ここの腹の場所まで、今お主のあつーいものが……とろとろと、  
ワシを塗りながら、下つていつておるよ♥

あはっ……これは、完全に、酔うてしまったのじゃ♥ くふ、ふふ……あ、はあ♥

くやあー……あるじさまあ♥ おぬしよお♥

ワシは、もう……まったく辛抱できんようになつてしまったようじゃよ♥

こんな、お主の味と熱を体に染みこまされて、我慢など出来るはずないじやろ♥

お願いじゃ、後生(ごしよう)じやよお……♥

もう、ワシのホトは……お主に目覚めさせられてしまった雌はあつ♥

どろどろの口以上、濡れて、溢れて……淫水(いんすい)を滴らせて、尾まで濡れてしもうておるん  
じゃ♥

《しゅる……ぱさっ》

(着物を脱ぎ捨てる音)

《くちゅ……くぱあつ》

(自分から、秘所を開く音)

こじやあ……のお？

はしたなくて、情けなくて、ワシにそっくりで……自分で見せるのなんぞ、恥ずかしくて……憚れ  
る(はばかれる)んじやが、んんっ♥

お主のお……主様の情けが欲しゅうて、もらえない方が辛い(つらい)と溢れて仕方ないんじやあ♥  
お願いじゃあ……、主様のマフを、雄を、精を……ここにいてくれておる証明をお♥

ワシのホトに……だらしなく蜜を垂らす雌に、お主を欲しがるこの……情けないナコの蜜壺(みつ  
つぼ)にもお♥

子種を、注いで……欲しいんじやあ♥

くう、おー……んんうっ♥